

● 巻頭論文

日本学術会議会員任命拒否から1年半

——いま、どうなっているのか——
國體について

広渡 清吾
前川 喜平

10 5

● 情勢

「維新」自公政権の悪政の中、総選挙躍進の謎、本当の姿と警告
治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願の21年度
紹介議員のみなさん——衆議院議員78議員・参議院議員42議員
追悼 増本一彦中央本部会長の逝去を悼み、その足跡を偲んで

西谷 文和

13

矢島 恒夫

28 17

● 情勢学習コーナー

岐路に立つ連合——連合新会長の野党共闘批判、
きしむ参院選対応、自民接近などをどう見るか
日本共産党に聞く——ウクライナ・自衛隊・天皇制・憲法
「歴史戦」とは何か——そのねらいと歪曲された歴史認識
改憲策動にたちむかう構え

青山 悠
田村 智子
山田 敬男
内藤 功

32 39 46 54

岸田内閣の危険な防衛政策、軍拡予算
大自然と県民の闘いが阻む新基地建設

千坂 純
早坂 義郎

60 65

◆ 文化・芸術

縄文時代研究——考古学と唯物史観
日本最古の鉄道遺跡「高輪築堤」は全面保存こそ
レクイエム——さようなら小三治さん、寂聴さん
ロシアのウクライナ侵略から思う「東京大空襲」
——「戦争は絶対にしてはならない」
韓国語版『朝鮮の治安維持法』刊行に寄せて
詩吟「ウクライナの栄光はまだほろびず」
——ロシアの侵略を糾弾す（新興吟詠会）

勅使河原彰
山沢 猛
澤田 勝雄
齊藤 隆司
荻野富士夫
園部 道香

72 76 82 87 93 97

本の紹介

羽瀨三良著『東京私学62年闘争と私がたたかった日本映画史』
孝岡楚田編・著『志高く生きる』

治安維持法下の闘いと抵抗の群像

川柳少女 近藤十四子と川柳女性の会
治安維持法で弾圧された宗教者たち
映画批評 21世紀に訴えかける激烈青春

平 川柳
後藤太刀味

100 106

「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」 石子 順 112
 千代子から学ぶ民主主義獲得のたたかい 対談・ワタナベ・コウ ツルシカズヒコ 116
 短歌 多喜二希いし「自分たちの映画」完成す 上田 精一 122
 人々を愛するが故に、権力の攻撃に凜として対決する姿が、
 美しく鮮やかに大型スクリーンに躍動 宮地さか枝 124

同盟活動シリーズ

女性部発足一年記念集会のこと 高橋 妙子 127
 新たな2つの支部結成を力にさらなる前進へ 早崎 末浩 130
 「2万人会員実現」めざす新潟県本部の取り組みについて 野崎 洪 133
 第40回全国大会めざし「特別期間」の成功と大会議案について 岡 正信 136
 長野県の映画「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」 竹村 利幸 138
 上映運動の取り組みについて

●資料

二〇二〇年代に国会請願要求を実現して、「治安維持法体制」による 増本 一彦 140
 国の責任に決着をつけよう（2020年春季号掲載）

★会員交流
 読者ハガキから

※表紙カッター 岡部哲郎

151

■巻頭論文

日本学術会議会員任命拒否から1年半

——いま、どうなっているのか——

元日本学術会議議長 広渡 清吾

1. 任命拒否の狙いは何か

——人事介入から学術会議「改革」へ

菅（前）首相は、105名の会員候補者のうち6名の任命を拒否した。この前代

未聞の措置から、1年半が経過した。学術会議の会期は3年なので、半分がすぎた。菅のあとを受

けた岸田首相は、「任命手続きがすでに終了」として責任ある態度を示さず、6名の即時の任命を求め続けている。学術会議の要請に対して、任命問題は官房長官、学術会議改革問題は科学技術担当大臣を窓口にするというだけで解決へのイニシアチブをとる意思はみられない。

いま、任命拒否問題は、任命拒否という政治権力による人事介入に留まらず、これを奇貨として（つまりこじつけの理由として）学術会議改革が問題として立てられている。問題となる行動は、首相⇨政権側にあるのに、任命拒否のような問題を起こす学術会議に問題があ



広渡清吾氏